

### チャ「熊本TC01」の幼木における初回せん定処理技術

直立型であるチャ「熊本TC01」の幼木の初回せん定は、地際から45cmの高さで行うことで、成園初期の株張りが良く、樹冠面の芽のそろいが均一になる。さらに、V字せん定を行うと、慣行の水平せん定より成園初期の株張りが良く、定植5年目および6年目の収量が多くなる。

農業研究センター茶業研究所 (担当者: 石野晴香)

#### 研究のねらい

幼木のせん定は一般的に、主枝の徒長を抑え、側枝の生育を促し、早期に株張りの拡大を図るために行われる。特に、一般に定植後24か月頃に行われるせん定(以下、初回せん定)は、品種の樹姿(直立型、開張型、中間型)に合わせた処理を行うことが重要となる。

そこで、直立型に属するチャ「熊本TC01」の特性に合わせた幼木の初回せん定処理技術(初回せん定の高さ、初回せん定法)について、明らかにする。

#### 研究の成果

1. 初回せん定を地際から45cmおよび60cmの高さで行うと、定植6年目秋季の株張りが高さ30cm処理より大きくなる(図1)。また、高さ45cmで処理すると、樹冠面の芽のそろいが高さ60cm処理より均一になる(図2)。
2. 高さ45cmでV字せん定を行うと、慣行の水平せん定より定植6年目秋季の株張りが大きくなり(図3)、定植5年目および6年目の収量が多くなる(表2)。

#### 成果の活用面・留意点

1. 「熊本TC01」の幼木園管理に用いる。
2. 水平せん定には乗用型管理機(落合刃物工業 OMT-5、弧状 R3000)を使用した(図4左)。V字せん定には充電式生垣バリカン(マキタ MUH404DRF)を使用した。刃をうね中央に向かって差し入れ、45°程度に傾けた状態を維持しつつうね方向に移動し、株の中央部が規定の高さになるようせん定した(図4右)。
3. 作業時間は水平せん定で平均30分/10a、V字せん定で平均48分/10aとなる。ただし、作業時間にうね間の移動時間は含まない(データ省略)。
4. V字せん定区では2022年3月の初回せん定時のみV字処理を行い、それ以降は慣行の水平処理(乗用型管理機による処理)とした(表1)。
5. 栽培条件: 熊本県農業研究センター茶業研究所内ほ場(上益城郡御船町、標高100m)  
赤黄色土壌(阿蘇火山砕屑物風化土壌)、ペーパーポット苗2020年3月定植(うね間180cm、株間50cm、条間30cm、2条千鳥植え)

表1 各試験区の摘採・整せん枝処理の推移(処理の高さ)

試験区	単位: cm												
	定植1年目 (2020年)		定植3年目 (2022年)		定植4年目 (2023年)			定植5年目 (2024年)			定植6年目 (2025年)		
	定植 3月	初回 せん定 3月	10月	6月	8月	11月	一番茶 摘採 4月	二番茶 摘採 6月	深刈り 更新処理 7月	秋整枝 11月	一番茶 摘採 5月	二番茶 摘採 6月	秋整枝 11月
	(-)	(-)	(+20)	(+5)	(+3)	(+3)	(+1)	(+1)	(-15)	(+5)	(+1)	(+1)	(+5)
30cm区	-	30	50	55	58	61	62	63	-	68	69	70	75
45cm区	-	45	65	70	73	76	77	78	-	83	84	85	90
60cm区	-	60	80	85	88	91	92	93	78	83	84	85	90

注1) ()内は前回摘採・整せん枝位置からの高さ。

注2) 2024年7月に実施した深刈り更新処理は、茶園を乗用型管理機の使用可能な高さに調整する目的で実施した。

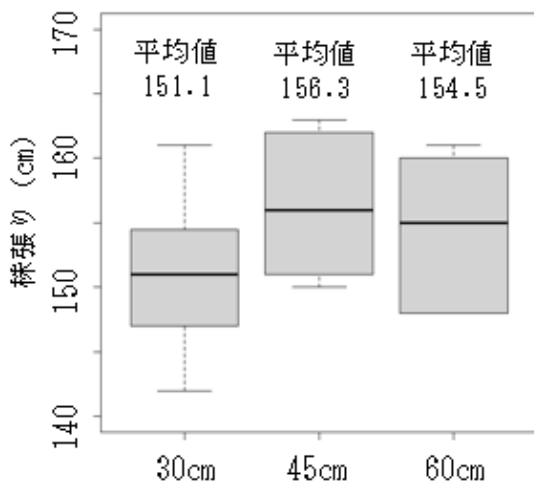


図1 初回せん定高さ別株張り

注1) 2025年11月25日に調査した。  
注2) 水平せん定区のみ掲載。

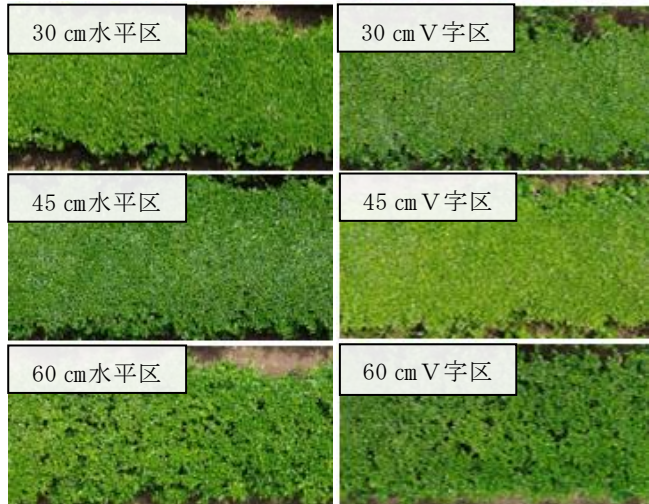


図2 試験区別樹冠面の様子

(60cm区は樹冠面の所々に間隙が生じ、ばらつきが大きくなる。定植6年目2025年5月13日茶園上空より撮影)

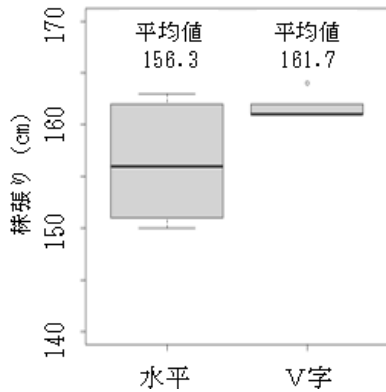


図3 初回せん定法別株張り

注1) 2025年11月25日に調査した。  
注2) 45cm区のみ掲載。



図4 初回せん定法イメージ

注) 左: 水平せん定 右: V字せん定 (点線: 初回せん定位置)

表2 初回せん定法別収量

試験区名	定植5年目 (2024年)				定植6年目 (2025年)				2か年合計	
	一番茶		二番茶		一番茶		二番茶			
	(kg/10a)	指数	(kg/10a)	指数	(kg/10a)	指数	(kg/10a)	指数	(kg/10a)	指数
水平区	370	100	289	100	262	100	507	100	1,428	100
V字区	512	138	368	127	291	111	426	84	1,597	112

注1) 摘採は2024年一番茶(4/29)、二番茶(6/17)、2025年一番茶(5/2)、二番茶(6/18)で実施した。

注2) 45cm区のみ掲載。指数は水平区の収量を100とした場合の割合を示す。